



報道発表資料

2006年10月11日
インフォテリア株式会社

データ連携ソリューションスイート「ASTERIA」の導入社数が300社を突破

～ 社内データ連携から大規模 BtoB まで多様なシステム連携に貢献 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎）は、データ連携ソリューションスイート「ASTERIA（アステリア）」の導入社数が、2006年9月末日現在で300社を超えたことを発表します。

ASTERIAは、サーバーとデザイナーと呼ばれる開発環境からなる、データ連携ソリューションのためのソフトウェア製品です。300社を超える導入企業の中には、以下のような企業（団体）が含まれています。

- インテリジェンス様
- 加賀電子様
- 神奈川新聞社様
- 京セラ様
- 競艇情報化センター様
- 共同通信社様
- 産経デジタル様
- JR西日本データサービスネット様
- ジャパンネット銀行様
- 昭和リース様
- 住金物産様
- ソニー様
- 大成建設様
- 大興物産様
- 中国新聞社様
- 東京都様
- 東芝様
- 日伝様
- 日本中央競馬会（JRA）様
- 富士ゼロックスオフィスサプライ様
- 富士ゼロックス情報システム様
- ぷらっとホーム様
- プレオマート様
- 毎日新聞社様
- 松下電工様
- 三菱商事/メタルワン様
- 山善様
- ヤマトネ様
- 読売新聞社様
- ローソンチケット様

ビジネス環境がめまぐるしく変化する現在、ITの世界では変化に強いシステム構築手法「SOA」に注目が集まっています。SOAでは、サービス同士のメッセージを交換する際のインターフェースが主要な役割を担いますが、ASTERIAはその大きな特長である「マルチ・プロトコル」「マルチ・フォーマット」によって、SOAにひとつの解をもたらします。

ASTERIAでは、異なるシステムや異なるデータフォーマット間の連携をスピーディーに実現することができ、その柔軟性と信頼性から金融機関や報道・通信機関、公営競技などにも採用されています。また、「ノン・コーディング」をコンセプトにGUIベースで提供される開発環境により、特定のエンジニアのスキルに依存することなく、迅速にシステム間の連携開発を行なうことができ、ビジネス環境の変化に合わせてシステムを変更・拡張することが可能です。

インフォテリアでは、ASTERIAの販売とシステムインテグレーションを行う「ASTERIAソリューションパートナー」とともに、今後とも積極的な経営革新を実現する戦略的な情報システムの構築を支援してまいります。

インフォテリア株式会社について

1998年に国内初のXML専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、ビジネスにおける企業内外の多種多様なコミュニケーションを迅速化、可視化するためのソフトウェアを開発・提供しています。

<http://www.infoteria.com/>

ASTERIA、Infoteria およびインフォテリアは、インフォテリア株式会社の商標または登録商標です。

本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です

プレスリリースに関するお問合せ先

(報道関係各位からのお問合せはこちらにお願いします)

インフォテリア株式会社

広報担当	嶋 かおる
TEL	03-5718-1297
E-mail	press@infoteria.co.jp

以上